

テュートリアル課題 熱がでた

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2014-08-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 東京女子医科大学 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10470/00032358

2010 年度 Block. 6

課 題 No. 3

課題名：熱がでた

課題作成者：小児科学

平澤恭子

シート1

真由ちゃんは1歳6ヶ月健診を受けたばかりです、順調に成長、発達しているといわれましたが、必要な予防接種は早く受けるようにとのアドバイスがありました。そのため予防接種の予約を済ませたところです。昨日、鼻汁、咳が出るようになり、その夜からは何となく体があつくなってきたので、熱を測ってみました。熱が39度もありとても不安になりましたが、水分もよく飲んでくれるし、機嫌も悪くなく、いつもどおりに寝入ってよく眠れているようだったので朝まで様子を見て、本日かかりつけの小児科を受診しました。

シート2

先生はのどが赤いといって薬を3日分処方し、また家での発熱時の対応についていくつか気をつける点を話してくれました。

真由ちゃんは薬をいやがってしまいます。また夜は何回もぐずって起きました。高熱が3日目の夜まで続き、食事や水分の摂取もできない状態になってきました。また咳き込んで、吐いてしまいます。今朝になって少し熱が下がったようですが、昼近くになってまた熱が上がってきました。元気もありません。また、頸の後ろと顔や体に赤いぶつぶつがでていることに気づきました。そこで再度受診することにしました。

シート3

医師は水分や食事もできていないので脱水があること、また呼吸が少し早いことを指摘。点滴などの治療が必要なので、大きな病院への受診を勧め、電話で連絡をとって入院の可能性があることなどを伝え了解をとった上で、先方の病院への紹介状を書いてくれました。受診した病院ではすぐに一般の診察室とは違う診察室へ通されました。そこで問診票の記入を終えて待っていると先生がきて診察が始まりました。

シート4

真由ちゃんの診察所見は以下のようでした。

体重 9.5kg 身長 78cm 頭囲 46cm 胸囲 46.5cm
体温 39.1度 心拍数130/分 呼吸数 52/分 不機嫌
吸気時胸骨上窩及び肋間の陥没
項部硬直なし
頸部リンパ節 小指頭大2, 3個触知、圧痛なし
口唇 乾燥 軽度発赤あり顔面体幹の発疹を認める。(写真)
心音 心雑音なし呼吸音 右肺野に軽度の湿性ラ音が聴取
腹部 皮膚ツルゴール低下 その他異常なし
咽頭発赤著明 頬粘膜に芥子粒大の灰白色の斑点あり(写真)

直ちに血液検査と胸部エックス線検査をするようにいわれ実施されました。
お母さんは前回の健診時の体重(10.5kg)よりかなり減っている事に気づき。それも心配になりました。

シート5

胸部エックス線写真で右下肺野に浸潤陰影があり麻疹肺炎＋脱水症という診断で隔離病棟に直ちに入院となりました。担当医からは「麻疹はいろいろ合併症に気をつけなければいけないのです。入院中は真由ちゃんの精神的な面からも付き添ったほうがよいです」との話がありました。それを聞いて少し困ったけれど、お母さんがなんとか真由ちゃんに付き添っての入院となりました。入院中は輸液療法と加湿、吸入療法を中心とした治療が行われ、数日で解熱、肺炎も徐々に改善し、退院の許可もおりました。母親の孝子さんは数年前高校生や大学生のはしかがニュースになっていたけれど、お父さんははしかにかかったことはあるのかしら、お兄ちゃんの幸一は一歳のときに予防接種をしているけれど、大人になっても大丈夫なのかしらと少し気になっています。